

血液検査で手軽にできる 胃がんリスク検査 胃がんリスク検診（ABC 検診）

■ 胃がんリスク検診とは？



- 血液検査で“胃がんの発症リスク”を調べる検診です。
- 検査結果の組み合わせから A、B、C、D の4群に分類され、胃がん発生リスクを評価します。
- A 群と判定された方は、胃がんのリスクは低いと考えられます。B～D 群と判定された方は、定期的な胃内視鏡検査（胃カメラ）で胃がんの早期発見に役立ちます。
- 現在から将来の胃がんリスクを評価する検診であり、ABC 検診で胃がんが見つかるわけではありません。

1. ピロリ抗体検査

+

2. ペプシノゲン検査

ピロリ菌感染の有無を調べる検査

萎縮性胃炎の進行を調べる検査



ABC 分類	A 群	B 群	C 群	D 群
ピロリ抗体検査	(-)	(+)	(+)	(-)
ペプシノゲン検査	(-)	(-)	(+)	(+)
胃がんに発生リスク(危険度)	低			高
1年間の胃がん発生頻度	ほぼゼロ	1000人に1人	500人に1人	80人に1人
ピロリ菌除菌	不要	必要	必要	他の検査で陽性の場合には必要

■ 検査料金について

検査料金 CT がん検診のオプション検査として 1,000 円（税込）

■ ABC 検診に適さない方

下記のいずれかに該当する場合は正しい結果が得られない場合があるため、お勧めできません。

- ※明らかな上部消化管症状のある方
- ※食道、胃、十二指腸疾患で治療中の方
- ※胃酸分泌抑制薬(プロトンポンプ阻害薬)服用中の方
- ※胃切除の方
- ※腎不全の方(クレアチニン 3.0mg/dL 以上)
- ※ピロリ菌の除菌治療を受けた方



刈谷豊田総合病院 健診センター [ご予約・お問い合わせ] TEL 0566-25-8182 (直通)